



🔔 2018年度 前期受講生募集開始



☆前期は、さらに充実した52の講座・ワークショップを開講いたします

下記に改編した箇所をご案内します。詳細は「講座のご案内」パンフレットをご参照下さい。

○「科学」WSは、開講の曜日を月曜日から金曜日に変更します。

○「宮前」講座は、木曜日開催となります。

テーマは『東国武士団の動向—武蔵・相模の武士たちの群像』です。

○分野が「専攻」から「学群」に変更になります。

- ・2年会員・1年会員を申し込む際は、学群を一つ選びます。
- ・2017年度前期に2年会員を申し込まれた方は前年と同じ専攻になります。
- ・「エクセレント」は学群の分類対象にはなっていませんが、これまでと変わらず選択することができます。



受講申し込み期間 1月12日(金)～2月20日(火)

追加募集締め切り 3月30日(金)

☆「受講説明会」を開催します —是非、お友だちやお仲間をご紹介ください—

場 所	宮前市民館	高津市民館	教育文化会館	麻生市民館	中原市民館
教 室	第4会議室	第6会議室	第6会議室	第1会議室	第1会議室
日 時	1/22(月)	1/23(火)	1/26(金)	1/29(月)	1/30(火)
時 間	13:30～ 15:00	13:30～ 15:00	13:30～ 15:00	13:30～ 15:00	13:30～ 15:00
定 員	40名	40名	40名	40名	35名

※事前の申し込みはいりません。参加料は無料です。

☆紹介制度をご活用下さい：お友だちをご紹介いただき、その方が受講された場合、新規受講者にご紹介された受講生それぞれに記念品を差し上げます。

📣 藤嶋理事長 文化勲章受章記念 講演会・祝賀会報告

昨年12月5日、藤嶋理事長の記念講演会が開催され、「光触媒の広がり～その発見と現状～」と題して、次のようなお話をされました。

「硬く変質しにくい『酸化チタン』を一方の電極に用いた装置で、水の電気分解を始めようとしたところ、電圧をかけていないにも拘わらず、光の当たっている酸化チタン電極から、すでに気体(酸素)が出ていることに気が付いた。植物の葉に光が当たると酸素が発生する、光合成と同じ現象が起きていたのである。酸化チタンが、葉の中の葉緑素と同じ働きをしていること(光触媒反応の発見)を論文で発表したが、その当時日本国内では『あり得ない』こととして、誰からも認めてもらえなかった。最初に注目してくれたのがイギリスの科学誌『ネイチャー』だった。『ネイチャー』誌に掲載されたことで、日本のメディアも注目するようになり、この発見(『本多・藤嶋効果』)がビッグニュースとして、朝日新聞1974年元旦号の1面トップを飾ることになった。発見から7年後のことである。その後、日本でもこの『本多・藤嶋効果』に関心が集まり、それを応用する技術の開発が進んだ。」

そして「現在では、防汚や殺菌をはじめ応用範囲は次々に広がり、それによって私たちも多大な恩恵を受けていることや、その応用範囲が今後も更に広がる可能性を示していること」が具体的な事例で紹介されました。

祝賀会は、アカデミーや生涯学習財団の関係者を中心に、68名が参加して盛大に行われました。「藤嶋先生は、ご自身の研究活動に邁進されるだけでなく、子供たちをはじめ多くの川崎市民に向けて、科学の素晴らしさを伝える活動にも積極的に取り組んでおられる。私たちも先生から多くのことを学ばせていただいた。だから、今回の先生のお受章を川崎市民みんなで喜びたいと思う。」この福田市長の祝辞をはじめ、多くの来賓の方々からお祝いの言葉をいただきました。(高橋邦晴 記)



講演中の藤嶋理事長



祝賀会での理事長ご夫妻



祝辞を述べられる福田市長

📣 12月度理事会報告 12月20日(水) 15:30~18:00

審議事項 1件 報告事項 20件



1. 審議事項

○大学連携講座開設要綱(案)について
前回案について一部修正された案が再提出され、今理事会の承認を得た。

○第4回カリキュラム企画・編成会議

- ・18年度各講座・WSの日程表(タイトル、内容等)が確認された。
- ・専攻制度の見直しについて確認された。

2. 主たる報告事項

○17年度後期受講生数の確定について
延べ受講生数 3,435名
(対前年比105%)

○毎月開催されている各部会会議
主たる議案、検討の状況が4部会長から報告された。

📍話題の講座・WSのご紹介

講座13 文学 「古典は新訳で召し上がれ! 古典新訳で楽しむ世界文学」

世話人 石川 治子

文学には小説や随筆等色々あります。本講座は主に小説ですが、過去にはノンフィクションを取り上げたこともあります。また、明治の大文豪「夏目漱石」を3期連続で行い、改めて文豪と言われる所以を納得された受講生も多くおられたのではと思っています。

今期は目を世界に向けて外国文学を学んでいます。外国文学は翻訳が難解!でもご心配は無用。いま使用している翻訳本は今の私たちの言葉でわかりやすく訳されていて当然の如く講義にも身が入ります。18年度前期も引き続き外国文学を学びます。一例として、「赤と黒」。昔読んだその頃の記憶が蘇って、正に文学は若返りの妙薬! 学びましょう文学を!



講座でのテキスト

📍代表世話人のご紹介

WS13 経済WS 「経済がわかりやすい WSを目指しています」

代表世話人の武馬和保さんに、教室運営について日ごろ心がけていることをお聞きしました。「8年前アカデミーを受講。仲間と講演会の開催等社会貢献事業を行ったこともあります。4年前から代表世話人をやっています。受講生は平均40名、女性も多く参加されています。



弓道大会で優勝

現役時代は機械や化学の専門家であったり、時事問題を理解できるようになりたい等と様々な方が参加されています。テーマは、生活に密着した身近なものを選ぶように心がけています。毎回の討議・討論は議論百出で交通整理に嬉しい悲鳴を上げています。モットーは楽しく。また、議論を通じ少しでも知識が得られれば良いと考えています。授業終了後はグループで親睦会を開き交流を深めています。」

(世話人:石川浩久・廣中崇夫 記)

★ 第10回「受講生のつとめ」ご案内

皆さま! 先生方との交流を深めながら、
「つとめ」を大いに楽しみましょう!!

開催日時 2018年 3月2日(金)
13:00~16:30(予定)
会場 川崎市生涯学習プラザ 401

※申込み不要、参加費無料(但し、講師の先生、受講生の方が対象です)

一年の締めくくりに、受講生の皆さまと講師の先生方、受講生同志の親睦・交流を深めていただきたいと思います。修了証の授与式も行われます。今回はルセル弦楽四重奏団をお招きしました。他にも参加型アトラクションや懇談の時間など楽しいイベントが盛りだくさんです。皆さまのご来場をお待ちしております。 第10回受講生のつとめ実行委員会



🏠 かわさき市民アカデミーの変遷—シリーズその3—

アカデミーの危機と存続への努力(2003~2006)

まさに、寝耳に水の出来事でした。突然、川崎市から行財政改革の一環として、アカデミー廃止の意向が示されたのです。「2004年度は会員を募集しない。2005年にアカデミーは廃止する。継続するには市民に頼るほかない…」という、生涯学習財団からの一方的な通告とも言える報告でした。それは当時の市長による「アカデミーへの公費支出は、税金の無駄遣い」発言に端を発した、市政の方針転換によるものでした。

アカデミーでは、さっそく受講生の会と修了生の会が中心となって、市議会に対して「アカデミーの存続」を求める請願活動を行いました。請願書には604名が署名し、市議会も全会一致で存続の決定をしました。さらに、市長に対する「かわさき市民アカデミーの存続についての要望書」には、受講生を中心に1397名が署名しました。こうした努力の結果、何とかアカデミーの存続は決まりましたが、それまで全面的に行政に頼っていたアカデミーの運営については、改革を迫られることになったのです。

求められたのは、行政主体で運営されていたそれまでのアカデミーを、市民が主体となって運営するアカデミーに変えることでした。アカデミーでは改革協議会を作り、課題を整理するとともに、改革の方向を明らかにする話し合いを重ねました。その結果、行政は講座開設要領を作成し、会場を提供するなど、市民の自主運営に向けた条件を整えること、市民は自主運営できる体制をつくること、それぞれの課題になりました。

自主運営は、演習からスタートしました。演習はワークショップへと名称が変更され、受講生による運営組織(ワークショップ委員会)がつけられました。ワークショップの企画・運営・採算も市民の手で自主的にいき、川崎市生涯学習財団が資金面での支援を行う体制が整ったのです。各ワークショップの運営は、受講生の一員である運営世話人が担当し、企画はコーディネーターの先生の協力を得て自主的に行うようになりました。こうして、現在の講座・ワークショップ運営の原型がつけられたのです。



’09年度 通常総会新理事

その後、自主運営は講座でも行われるようになり、さらに講座・ワークショップを中心としたアカデミーの事業全体を運営する組織として、NPOの設立を目指すようになります。一年以上の準備期間を経て、2006年12月にNPOの設立総会が行われました。川崎市生涯学習財団の支援を受けながらも、やっと市民の手で生涯学習機関を自主的に運営する組織(特定非営利活動法人かわさき市民アカデミー)が誕生したのです。

編集後記

◇昨年11月3日(祝)、当NPO法人かわさき市民アカデミーの藤嶋理事長が文化勲章を受章されました。私たちアカデミーにとって大変喜ばしい出来事でした。

◇皆さまには良いお年をお迎えになられたことと存じます。本年はかわさき市民アカデミー開学25周年を迎えます。また、第3次中期4カ年経営計画のスタートの年でもあります。情報誌「かわら版」では、本年もアカデミーの歴史や文化、これからの運営についてなど様々な情報を皆さまにお伝えすることができるよう努める所存です。何卒、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。 編集委員一同

認定NPO法人

かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話: 044-733-5590

FAX: 044-722-5761

問合せメールアドレス:

info@npoacademy.jp

ホームページ:

http://npoacademy.jp/